



岡ユ協主催・共催の行事予定

【まちかど国際交流 - インターナショナルカフェ -】

担当：ボランティア部会
日時：7月7日(土) 14:00～16:00
場所：奉還町商店街「りぶら」
備考：今回はインカフェー周年記念パーティーも兼ねてアメリカ編を開催します。会場が違いますのでお間違いなく。
参加費：500円

インターナショナルカフェとは。ユネスコのこと、環境のこと、国際問題や異文化・言語について自由に語れる(もしかして公用語は英語...? 上手くなくてもOK!) 国際人(になりたい人)のためのオープンスペースです。どんどん利用して見聞、友達の輪を深めて下さい。ゲストをお呼びして他国の文化紹介などを行い、言語・文化を超えて国際人の集える場になればと期待しています!

日程はすべて各月の第1週の土曜日です、8月は4日(土)に開催予定です。奮ってご参加下さい。

【ユネスコ日本語教室】

担当：日本語部会
日時：毎週土曜日 10:00～12:00
場所：岡山ユネスコ協会事務所
講師：日本語教育専門教師
受講料：無料(テキスト代・実費)
備考：岡山ユネスコ協会では、「ユネスコ日本語教室」を開いています。この教室は、みんなで楽しく話しながら日本の生活や岡山の暮らしに役立つように、コミュニケーションを中心に学びます。

イベント情報

【環境学習講座】

日時：7月7日, 8月4日, 9月1日, 10月20日, 11月17日, 12月15日, 1月12日, 2月9日, 2月23日の各土曜日 13:30～15:30
場所：岡山県生涯学習センター
参加費：500円(9回分)
申込先：岡山県生涯学習センター
TEL:086-251-9751 FAX:086-251-9757

【岡山NPOサポートネットワーク定例学習会】

NPO経営の秘訣 - NPO継続・発展のために -
日時：7月15日(日) 13:30～15:30
場所：岡山県生涯学習センター大研修室
講師：谷口奈保子(ぱれっとを支える会)
参加費：500円
備考：参加申し込み不要, 当日ご参加下さい。
問合せ：岡山県社会福祉協議会内岡山NPOサポートネットワーク窓口
TEL:086-226-3511 FAX:086-227-3566

【廃棄物処理・リサイクルと循環型社会のゆくえ】

日時：7月28日(土) 10:00～15:00
場所：平林金属御津工場
講義：10:00～12:00 循環型社会
俣野顕憲(岡山県廃棄物対策課参事)
見学：13:00～15:00 リサイクル行程
参加費：1,000円
申込み:(財)岡山環境ネットワーク 7/6ㄨ切
TEL/FAX:086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama-coop.or.jp

【国際貢献ボランティア養成講座】

1. 養成講座
日時：8月4日, 11日, 18日, 9月1日(各土曜)
14:00～17:30
場所：国際交流センター5階会議室
定員：50名
参加費：無料
2. 海外実地研修
日程：9月6日(木)～11日(火)
開催場所：マレーシア
対象：養成講座受講者
定員：15名
参加費：11万円程度
3. 申込先
〒700-0026 岡山市奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内
(財)岡山県国際交流協会 企画情報室
TEL:086-256-2914 FAX:086-256-2489
(定員に達し次第ㄨ切)

【第8回おかやま国際貢献NGOサミット】

テーマ：もっと知りたいあなたのくらし
- 世界中に友達をつくろう -
日程：8月22日(水)～25日(土)
会場：渋川青年の家, 姉妹校交流校
ままかりフォーラム(25日)
問合せ：国際貢献トピア岡山構想を推進する会
TEL:086-251-6218 FAX:086-251-6216

- 全国大会参加報告 -

ユネスコ加盟50周年記念第57回日本ユネスコ運動全国大会 in 岐阜「異文化間の対話」が2001年6月8日（金）～10日（日）、岐阜市で開催されました。全国大会の詳細は広報ユネスコに掲載されると思いますが、当協会からも会長をはじめ数名の方が参加されましたので、参加者された方から感想を頂きました。岡コ協の今後の活動にとって非常に参考となる大会でした。

各分科会

1. ユネスコ協会のリニューアル（再活性化）と財政・運営、その後
2. 世界寺子屋運動
3. 世界遺産活動と各地の取り組み
4. ジェネレーションギャップ解消方法
5. 総合的学習の取り組み
6. 高齢者は21世紀のために今、何ができるか



青年アピールでこきりこ節を披露しました

第1分科会感想（事務局長・橋本 徹決）

財政の問題はどこのユネスコ協会でも大きな課題になっている。そのような中で特に効果的に他組織の資金で大きな活動を行っている佐賀ユネスコ協会の説明があった。岡山ユネスコ協会と同じ発足年である団体で会員が約100人。また年会費も5000円で会費収入が55万円程度で470万円の事業支出を行っていた。その内容は、JICA委託事業や電力会社の生涯学習教室事業の受託が大きな柱となっていた。また理事の業務分担が明確で皆さん積極的に実施されていた。また会員に教育庁の課長や県知事が加入されていた。また参考になるのが婦人の会員による心の連携プレーである。往々にしてサロン化しやすい活動をキーワードを決めて事業展開を行っていた。県内トップクラスの会員加入もご婦人の力である。岡山の女性を中心とするヤングパワーもこのご婦人の方々の活動も参考になるのではないかな。

しかし、岡山ユネスコ協会が先導的な行事を行っていることもあった。岡山市行政とユネスコとの「協働作業」がある。この度の分科会参考資料に提出された「地域ユネスコ協会の新たな歩みのために」の中にもこの言葉がでていた。しかした団体ではこの「協働」と言う言葉が間違いでないかと質問する参加者がいて意を強くしたものである。岡山ユネスコ協会は、財源問題・運営問題等これから本気で検討する段階に来ているが全体として時代に取り残されてはならないことがわかった分科会であった。

青年の集い・第4分科会・青年アピール

今回の全国大会では「青年の集い」、「第4分科会」、「青年アピール」が青年実行委員会の企画・運営により行われました。この青年実行委員会は立候補による全国の青年から結成されたものです。

- 司 会：山本 久美子（大阪南ユネスコ協会）
パネリスト：田川 清（名古屋ユネスコ協会会長）
佐藤 由美子（気仙沼ユネスコ協会理事）
有光 慶眞（松山ユネスコ協会）
小竹 祐加（岡山ユネスコ協会）



第4分科会の様子です

（青年実行委員・小竹祐加）

私としては、全国大会・実行委員何もかもが初めてのことでしたが、心強いメンバーに支えられ、無事終えることができ、とにかくほっとしました。パネリストの方々は、長くユネスコ活動をされていて「まずは、アクションを」と言われていた田川先生をはじめとするパネリストの方々の意見は、私自身もなるほど。と思いながら聞いていました。

今回のキーワードだったジェネレーションギャップについては、実行委員をされた方も含めて、かなり考え込んだのではないかと思います。どこの協会の現状も、歴史的背景などが絡んできますし、似ているようで独自のものがあったり、人がそれぞれ違うように、協会のカラーもそれぞれなんだなあと再認識しました。質問等の意見として、「ユネスコ憲章を読んで感動して、ユネスコ活動をはじめた。」という方がいました。ユネスコ憲章をじっくり読んだことがないので、恥ずかしかったです。

それにしても、各地からたくさんの方に来ていただいて、意見を交換できるというのはめったにない機会ですが、一緒に参加できて本当に良かったです。岡山の人にもこれから、どんどん参加して行ってほしいなと思います。ありがとうございました。

（青年実行委員・米津孝成）

第4分科会では「ジェネレーションギャップ解消法」をテーマに、青年会員2名と青年ユネスコ出身のおとな会員2名によるパネルトークが行われました。そこでは青年会員獲得に苦心する各協会への、青年とおとなの関

係作りのヒントが模索されました。パネラーだけでなく参加者からも様々な視点で意見が出され、飛び入りで日本ユネスコ協会連盟の児島会長、野口理事長からもコメントをいただくなど、会は盛況のうちに幕を閉じました。

分科会の内容を簡単に説明するのは困難ですが、世代が違えば考え方や活動方法にギャップがあるのは当然であり、そのギャップを受け入れ、かと言って意識しすぎることなく、協力と分担の調和のとれた活動を目指すべきとの認識に落ち着いたように感じられました。

この分科会がこれからの全国のユネスコ活動の一助となることを願います。

(青年実行委員・川野 公章)

2部形式の集いでした。一部は、立食のパーティー形式でした。グループに分けての懇親会で、各グループごとに話しに花が咲いていたようです。2部は、ゲームを交えての懇親会でした。「猛獣狩り」と言うゲームが気に入りました。猛獣?の名前を舞台の上の人が叫ぶ。その文字数のグループを作るのです。かなりはまってしまいました。ここでのメインは、なんと行っても、翌日の青年アピールで踊る子きりこぶしの練習でした。実行委員の僕らが舞台上で踊ると、みんな目をきょとんとしていた。ひとたび練習が始まるとみんな必死になって覚えようとしているのが楽しかったです。もちろん、青年アピールも大成功でした。

(理事・池田 満之)

青年OB(気持ちはまだ青年)として参加させてもらったのですが、まわりのほとんどが青年ということで、ちょっとプレッシャーを感じました。通常、多くのユネスコ協会では、この逆に年配の方々が多いことから、青年の人達はプレッシャーを感じているんだろうなと肌で感じました。「青年の集い」自体は、いかにも青年らしく、お金もできるだけかけずに楽しく元気にやっていたのがとても良かったと思います。踊りまで教えてもらって得た感じです。インターネットや携帯メールが普及して、活字の上での交流は増えていますが、やっぱり会って交流することは、お互いを理解し、共に協力していく上では必要なことだとあらためて感じました。ジェネレーションギャップも、こうした交流の中でお互いを理解しあうことで小さくなるものではないかと感じました。青年の皆さんが、実際どれくらいユネスコのことを理解されているかはわかりませんが、少なくとも今回の「青年の集い」のような交流が今後もできれば、ユネスコ活動はより元気になっていくように感じました。今後はもっと具体的なユネスコ活動の内容について話し合ってみるのもいいかと思いました。青年らしいこれからのユネスコ活動をどんどん進めていってほしいと思います。いろいろ大変だったと思いますが、実行委員になられた青年の皆さん、お疲れさまでした。とても楽しかったです。

(理事・藤原 武士)

1日目の夜に、全国の青年達が集まって、交流をしてきました。食事をしながらの懇親会は、それぞれのテーブルでお互いの活動などを話し合い、交流を深めました。その後、場所を変えてからは、グループごとに自己紹介をしたり、ゲームをするなどして盛り上がり、2日目の青年アピールのために、「コキリコ節」をみんなで踊り、楽しい時間を過ごしました。交流会が終わってからも、部屋で夜遅くまで飲みながら話をし、他の協会の活動状況や青年ユネスコに対する思いなどが聞け、大変勉強になりました。この青年の集いに参加して、全国各地の青年とたくさん知り合い、刺激を受けました。この経験を生かして、活動していきたいと思います。

第5分科会感想 (理事・池田 満之)

これからのユネスコ協会活動において、取り組むべき課題ではあるが、ユネスコ協会として取り組むための勉強をはじめた段階のように感じました。日ユ協連の岡田事務局長から、「これまで何十年とやってきたユネスコ活動そのものが、総合的な学習の素材となる。新しいことをやるというのではなく、今までやってきたことを材料にして下さい」とはじめに説明がありました。「総合的な学習の時間」のポイントとしては、(1)学習者に「生きる力」(自ら考え判断する力)を与える、(2)地域人材の活用(この取り組みが成功するように、ユネスコ協会内だけでなく、他団体などとも連携する。また、地域の人材バンクに積極的に登録して活動する)、(3)「学社連携」から「学社融合」へ(一緒になって取り組む)などが挙げられていました。私の方から、岡山での取組事例を挙げて、具体的な取り組み方などの課題について質問もしましたが、まだ多くのユネスコ協会がこれからの活動としていることから、つっこんだ部分での討議を深めるということまではいきませんでした。インターネットなどを活用して、今後はもっとつっこんだ討議ができる仕組みを整備していくことが望まれると感じた分科会でした。

第6分科会感想 (会長・三宅 正勝)

今年度初めて設けられた分科会という。そのもくろみは当たったといえよう。ユネスコの構成メンバーはその大半が高齢者である。それを象徴するかのよう、6つの分科会中最高の参加人数であった。しかも、女性パワーのすごさ。蓄積した知恵といくばくかの蓄えをNGOのために役立てようと、さまざまな分野で業績を挙げた方々(教師・医師・科学者・会社員等)が、使命感に支えられてユネスコ活動に協力する姿を彷彿とさせる報告や意見が、参加者の胸を打った。どれもが実践に裏づけられたものなので余計に・・・

また、この分科会に岐阜の「高齢社会をよくする会」のメンバーも参加してシルバーパワーの威力を見せ付けていた。高齢者は、次の世代を生きる若者たちが活動しやすいような場を設け、彼/彼女たちが幸せに生きていける仕組みを提供すべきである、と言うのが私の持論であるが、そうした意味でも「亀の甲より、年の功」を大切にしたいものだ。

新企画 - インターナショナルクッキング -

インターナショナルカフェのクッキング版としてインターナショナルクッキング第1弾を6月23日(土)に国際交流センター調理室で、パンさんを講師に迎え開催しました。このクッキングは申込者が定員を大幅に超えてしまったため、6月30日(土)に第2弾を開催しました。参加者は両日でスタッフを含め70名を越えており、味の方も、最高に美味しいものでした。司会の原田君も大健闘でした。今後も、機会があれば第2弾、第3弾と開催する予定ですので、奮ってご参加下さい。

新企画 - 'English de Cafe(仮称)' -

インターナショナルカフェの英語版を7月1日(日)に岡山ユネスコ協会事務所で開催しました。この企画は、英語圏の方をゲストに招いて英語でお話を聞き、楽しくお話しをしようという会です。今回のゲストは7月にオーストラリアに帰国するジャロットさんでした。講師のジャロットさんが地球温暖化の問題と今回の小泉首相の訪米をからめた非常にタイムリーな話題を提供してくれ、2時間近くわたって熱心にお話ししてくださいました。うち解けた雰囲気気で11人の参加者も質問や意見を交わし、勉強になる楽しい会ではなかったかと思えます。

今回は急であったため、広報が遅れましたが、次回以降をお楽しみに。なお、今回は7月29日(日)に開催する予定ですが、詳しいことは事務局にお問い合わせください。

「岡山ユネスコ協会の将来を考えるワーキンググループ(WG)」 発足

前回お知らせした「NPO理事会運営の勉強会」を6月30日に開催した結果、標記の長い名称を持つ新しい会が発足しました(責任者:井勝久喜,事務担当:廣田陽子)。この会の設置は理事会で承認を頂いており、岡山ユネスコ協会の活動、理事会、事務局のあり方を検討し、岡コ協の将来構想を練ることを目的に毎月ミーティングをもちます。ミーティングで話し合われたことを理事会に提案し、岡山ユネスコ協会の改善、より実質のある活動の推進を図っていきたく思います。次回のミーティングは7月16日(月)18:00~に岡コ協事務所で開催します。岡コ協を発展させるためには、基盤となる運営システムの確立と継続的な改革が必要です。このWGには会員の方であればどなたでも参加できます。是非奮ってご参加下さい。

参加希望の方は、事務局小竹か井勝(sanpopo@cc.okayama-u.ac.jp)、廣田(yokoh@e.okayama-u.ac.jp)までご連絡ください。もちろん、当日の飛び入り参加も大歓迎です。

- ベトナムスタディツアーについて(予告 第3号) -

皆さんには、総会資料と共に本ツアー関係の資料(ビラ)もお送りしたはずですので、内容についてはご存知のことと思います。総会資料は受け取っていないが、このレターは愛読しているという方は「何のことだ?」というお問い合わせを下記宛てにお申し出下さい。現在6人の方が申し込んでおられます。いまからでも間に合いますので、これも下記宛て、または岡コ協事務所宛申し込んで下さい。

(問合わせなどは FAX 086-272-1639、E-mail: misaki@oka.urban.ne.jp 佐橋まで)

この岡コ協の企画は今年11月16日岡山発、同月25日岡山帰着の予定です。この期間はダメという方で、ベトナムへ行きたいという方は、今年9月5日日本発、同月12日帰着という予定で日本ユネスコ協会連盟が企画していますので、そちらもご検討下さい。その詳細は日本ユネスコ協会連盟世界寺子屋運動グループ(電話:03-5424-1121)へお尋ね下さい。(文責 佐橋)

- 事務局からのお知らせ -

【会費納入のお願い】

過去2年以上会費未納の方は退会扱いとさせて頂くことが理事会で決定しました。
会費未納の方は平成13年度会費と合わせて早急に納入をお願いします。

振込先:郵便振替01240-9-38280 岡山ユネスコ協会(不明な点は遠慮無くお問い合わせ下さい)

【会員増強にご協力下さい】

平成13年度は、岡山ユネスコ協会の活動の柱として、新規会員の獲得を目指すことになりました。岡山ユネスコ協会活動の活性化のために、会員の増強にご協力下さい。入会希望の方がおられましたら、入会案内書を送らせていただきます。事務局にご一報下さい。

発行 岡山ユネスコ協会

〒700-0026 岡山市奉還町3丁目1-28 TEL&FAX 086-255-0651

ホームページアドレス: <http://www.ddn.ne.jp/~o-unesco/> E-mail: o-unesco@ddn.ne.jp